

1 日常の学習状況・課題について

(1) 授業への取り組みは良好である。授業内容への理解度は、個人差がある。小学校、第1,2学年の基本的な計算でつまづいたままになってしまっている生徒もいるが、そのような生徒も努力する姿勢が見られる。

課題等の提出はほとんどの生徒が期限内に提出することができている。

(2) 学級差はあるが、質問もすることができ、ほとんどの生徒は授業に集中している。

(3) 課題は、家庭での学習に自ら取り組めない生徒がいることである。

2 改善の計画

(1) 学習面

①繰り返し学習の取組(特に基礎問題)

毎回宿題を課し、授業内容の定着を図る。

②ワークブックを使って課題を与え、基礎から応用までの様々な問題に繰り返し取り組む。

③間違い直しの徹底

ワーク、定期テスト等、間違い直しを行い、理解を深める。

④必要に応じて、定着の確認のための小テストを実施する。

(2) 指導面

①考える力を養うため、考えの手順を視覚化し、パターン化することから思考を深めていく。

②問題を正しく理解できるよう、板書内容や発問等の工夫をする。

③生徒の関心・意欲を高めるため、教材・教具・指導方法の工夫をする。

④章の始めの導入に、興味をもちやすい内容から入る工夫をする。

3 非認知能力を高めるための手だて

(1) 問題解決の過程の中で、周囲との教え合いを通して、課題を解決する場面をつくる。

(2) 授業の見通しを立てられるよう、めあてやまとめを生徒に考えさせる。

(3) 生徒の習熟度に合わせた問題設定をして、粘り強く課題に取り組む姿勢を育てる。

4 プランの評価方法

(1) 授業アンケートを行い、変容を見る。

(2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。